



JAPAN SWIM 2012

第88回 日本選手権水泳競技大会 競泳競技



監督者会議 資料

1. 競技について

- (1) 本競技会は、2012年度(財)日本水泳連盟競泳競技規則に則り実施する。
- (2) 競技は予選・準決勝・決勝ともに8コースで行い、進行は、タイムスケジュール通りに行う。
- (3) 男女400m自由形・女子800m自由形・男子1500m自由形・男女400m個人メドレーは予選と決勝を行う。それ以外の種目は、予選と準決勝・決勝を行なう。
- (4) 準決勝は、予選の結果上位16名が出場できる。決勝は、予選または準決勝の結果上位8名が出場できる。ただし棄権者が出た時は、次点上位より順次出場権を与える。
- (5) 準決勝・決勝進出について、同記録で予定人員を超えた場合は、スイムオフを行う。
また決勝競技後、日本代表に係るスイムオフを実施する場合がある。
- (6) 補欠が同記録で複数いる場合は、抽選を行う。補欠は決勝2名、準決勝は3名とする。
- (7) 本大会は、国際大会の代表選考会を兼ねるため、外国籍の競技者は予選のみ出場することができる。外国籍選手は、監督者会議後に申告すること。
- (8) 招集は競技開始20分前から行う。本人確認のため招集所には、ADカードを持参すること。招集の際に水着の確認を行う。
- (9) 予選を棄権する場合は、所定の用紙に記入し、当該予選競技開始20分前(9時40分)までに招集所に届け出ること。時間内に届け出をしなかった場合は棄権料3,000円、無断で棄権した場合は罰金3,000円を徴収する。準決勝・決勝を棄権することは出来ない。やむなく棄権する場合は、その予選・準決勝競技終了後1時間以内に棄権料3,000円を添えて届け出ること。
- (10) 競技成立後は、折返し監察員の指示によりプール横から退水すること。
- (11) 800m・1500m自由形における周回通知は、水中ラップカウンターを使用しコールは行わない。
- (12) 公式計時SEIKOによる計時バックアップは、水中バックアップシステムを使用する。
- (13) ゴールタッチはタッチ板の有効面に確実にタッチすること。
- (14) 予選は組のみの紹介、準決勝・決勝は入場ゲードでコース紹介を行う。
- (15) 本大会は、上訴審判団を設置する。

2. 全体スケジュール

期 日	事 項	開門時間	予選競技		決勝競技		閉門時間 (予定)
			開始時間	終了予定	開始時間	終了予定	
4月1日(日)	前日練習日	11時	前日練習日(11時~18時)				18時15分
4月2日(月)	1日目	7時30分	10時00分	12時40分	19時00分	20時55分	21時30分
4月3日(火)	2日目	7時30分	10時00分	11時05分	19時00分	20時45分	21時30分
4月4日(水)	3日目	7時30分	10時00分	11時05分	19時00分	20時45分	21時30分
4月5日(木)	4日目	7時30分	10時00分	11時55分	19時00分	20時45分	21時30分
4月6日(金)	5日目	7時30分	10時00分	11時45分	19時00分	20時45分	21時30分
4月7日(土)	6日目	7時30分	10時00分	12時25分	19時00分	20時45分	21時30分
4月8日(日)	7日目	13時30分	---	---	16時30分	18時00分	18時45分

※7時30分~13時30分は練習プールとして利用できる

※4月1日(月) 19時00分~ 開始式・特別表彰

※4月8日(日) 競技終了後直ちに、ロンドン五輪競泳競技代表内定式を行う

3. 表彰について

- (1) 1位～3位にメダルならびに賞状を授与する。4位～8位に賞状を授与する。
- (2) 表彰は、すべての決勝競技終了後にまとめて行う。(最終日は各競技終了後に行う)
- (3) 賞状の受取りと、IDカードによる記録証の発行は、更衣室入口前で行う。
記録証の発行時間 予選競技開始～予選終了後1時間、決勝競技開始～決勝終了後30分

4. プールの使用について

- (1) メインプール
 - ・水温は27.5度に設定する。
 - ・練習は競技開始15分前までとする。(1日目決勝前18時45分まで)
 - ・0・1コースは、ペースコースとする。
 - ・0・9コースは、ダッシュコースとする。スタートは、スタート側からとし一方通行とする。但し、6日目・7日目は、0コースは、折返し側からスタートとする。
 - ・昼休みの練習は、準決勝・決勝競技開始前2時間に限り、当日の準決勝・決勝出場者のみとする。
 - ・ダッシュコースの代理人による順番待ちは禁止する。
 - ・公式スタート練習は、9時00分～9時45分の間実施する。
※公式練習日4月1日(月)は、16時00分～17時00分の間実施する。
- (2) サブプール
 - ・1コースをダッシュコースとする。(水深が1.3mなので注意すること)
 - ・7コースをペースコースとする。

5. 水泳場の使用について

- (1) 本大会は有料入場のため、朝の開門時のみ2階入口となり、7時45分以降のすべての入退場はレストラン側とする。また、予選から決勝の間に、一般席は入替えを行うため、選手・付添い以外の観客については退館しなくてはならない。
- (2) 選手席・付添席は、ダイビングプール側のスタンド席と、ダイビングプールの特設スタンドおよびダイビングプールのプールサイドにウッドデッキ席を用意する。導線を守ること。
スタートバック席(ダイビングプール特設スタンド)は、選手・付添い・監督・コーチのみ使用することができる。
- (3) 一般席は有料席のため、選手・付添いは入場券なしで使用することはできない。
- (4) ダイビングプール側階段を選手・付添いは利用することが出来る。
- (5) 「競技会場における商業ロゴマーク等についての取り扱い規定」を厳守すること。
- (6) 選手・付添いエリアには、一般は入ることは出来ない。
- (7) ADカードを使用する。ADカードは、館内にいる時は常時首からさげていること。また、入退場際には、必ずADカードを提示して係員の指示に従うこと。
- (8) 更衣室のロッカーは、競技終了後は荷物を持ち帰ること。
※置き荷物は、忘れ物として扱う。また、競技会終了後、残った忘れ物は処分する。

6. 注意事項、その他

- (1) 選手は、ドリンクステーション(サブプール並びに更衣室入り口)にて、ドリンクサービスを受けることができる。
- (2) 全ての競技者は競技終了後、予選・準決勝・決勝を問わずミックスゾーンを通り退場すること。
- (3) 決勝競技終了後、すべての選手権獲得者に対し、フラッシュインタビューを実施する。
- (4) サブプールにリザルトと映像モニターを設置する。
- (5) 公式掲示板を、更衣室入口付近に設ける。
- (6) 盗難防止のための貴重品の保管については各選手の責任において管理すること。
- (7) スタートリストを販売する。予選200円、決勝200円。
- (8) 入場抽選は、監督者会議終了後7日間分をまとめて行う。
- (9) NHK(総合テレビ・BS1)にてテレビ放映を行う。
- (10) 競技結果を、SEIKO競泳リザルト速報サービス(<http://swim.seiko.co.jp/>)及び日本水泳連盟公認モバイルサイト「スイムレコードモバイル」(<http://j-swim.jp/>)にて確認することができる。

以上